

くわな市議会だより

平成25年9月定例会号

第7号

発行日 平成25年11月15日

「桑名のみかん」

桑名市はみかんの生産地として有名です。特に多度地区では古くから生産されており、大正時代になるとみかんの植栽事業が奨励され、昭和14年には地域の作付面積は100haに至り、名古屋や岐阜の市場へ出荷されました。その後、みかんの生産過剰に加えて昭和63年から平成2年にかけて、国がみかん園の減反を推し進め、みかん園の伐採、廃園化に助成金を出したことで、また、農業従事者の高齢化、後継者不足が加わり、みかん栽培は減少しています。

目次

- | | | |
|--------------------------|--------------|----------------|
| 01 表紙 | 06 決算事業評価結果 | 11 一般質問 |
| 02 9月定例会の概要 | 07 議案質疑／一般質問 | 12 常任委員会政策提言 |
| 03 総務政策委員会の概要／福祉安全委員会の概要 | 08 一般質問 | 13 常任委員会政策提言 |
| 04 教育経済委員会の概要／建設水道委員会の概要 | 09 一般質問 | 14 市議会からのお知らせ／ |
| 05 決算特別委員会 | 10 一般質問 | 議会活動状況報告 |

9月定例会の概要



9月4日から10月1日までの28日間の日程で開催しました。

今定例会では、「平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号)」や「平成24年度桑名市一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について」など17議案を審議し、いずれも可決認定しました。

このほか、「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書」等請願4件を採択、人権擁護委員の人事案件(追加議案)1件に同意し、「三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について」は1名が選出されました。

また、委員会提出議案として「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める意見書」等3件を可決し、議員提出議案として「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書」と「地方税財源の充実確保を求める意見書」2件を可決しました。

他に「桑名市土地開発公社の経営状況に関する書類の提出」等12件の報告がありました。

一般会計補正予算の主な内容

●桑名駅西土地地区画整理事業費(330,718,000円)

桑名駅西地区一体を整備するための移転補償にかかる経費です。

●学校給食事業費(4,763,000円)

学校給食の調理器具等を購入する経費です。

●適応指導教室事業費(2,213,000円)

施設が老朽化したことによる施設移転のための経費です。

●防犯灯設置補助金(8,100,000円)

防犯灯を設置するために自治会へ交付される補助金です。

●放課後児童対策事業費(16,935,000円)

放課後児童対策事業費補助金交付要領の改訂に伴う補助基準額の増額に伴う経費と、大和幼稚園舎を活用した学童保育所を開設するための経費です。

平成25年9月定例会主な表決結果

(議案18件、報告12件、請願4件、委員会提出議案3件、議員提出議案3件)

区分	番号	件名	賛成	反対	出席
市長提出議案	第70号	平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号)	26	3	0
	第72号	平成25年度桑名市水道事業会計補正予算(第2号)	28	1	0
	第73号	平成24年度桑名市一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について	26	3	0
	第74号	平成24年度桑名市水道事業会計決算の認定について	26	3	0
	第75号	平成24年度桑名市下水道事業会計決算の認定について	26	3	0
	第76号	桑名市市税条例の一部改正について	28	1	0
	第77号	桑名市国民健康保険条例の一部改正について	28	1	0
	第78号	桑名市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	28	1	0
	第80号	桑名市介護保険条例の一部改正について	28	1	0
	第82号	桑名都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部改正について	28	1	0
	第84号	財産の取得について(小型水槽付消防ポンプ自動車2台)	28	1	0
	第86号	市道の認定、廃止及び変更について	26	3	0
請願	第5号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書	28	1	0
委員会提出議案	第3号	「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める意見書	27	1	1
議員提出議案	第6号	「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める意見書	26	3	0
	第7号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書	25	4	0
	第8号	「生活保護基準の引き下げを撤回すること」を求める意見書	11	18	0

※全会一致で可決された議案等は省略しています。※議長は採決に加わりません。

※議員別表決結果は桑名市議会ホームページをご覧ください。

■審査案件 委員会開催日:9月17日・19日〔審査件数:5件〕

- 議案第70号 平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 所管部門
- 議案第76号 桑名市市税条例の一部改正について
- 議案第81号 桑名市火災予防条例の一部改正について
- 議案第83号 財産の取得について(救助工作車)
- 議案第84号 財産の取得について(小型水槽付消防ポンプ自動車2台)

議案第83・84号で取得予定の自動車のイメージ図



小型水槽付消防ポンプ自動車



救助工作車

Q 桑名市市税条例の一部改正に対する質疑
A 条例改正に伴う影響額は、住宅ローン控除に伴う減収分については地方特例交付金により補填される。

主な質疑

■審査案件 委員会開催日:9月17日・19日〔審査件数:6件〕

- 議案第70号 平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 所管部門
- 議案第71号 平成25年度桑名市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第77号 桑名市国民健康保険税条例の一部改正について
- 議案第78号 桑名市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 議案第79号 桑名市学童保育所条例の一部改正について
- 議案第80号 桑名市介護保険条例の一部改正について



10月に開所した大和学童保育所

◆防犯灯設置補助金について
Q 今後の補助のあり方は。
A 補助率及び補助灯数について見直しを検討している。

◆放課後児童対策事業費について
Q 大和学童保育所関係分を除く事業費増の内容は。
A 学童保育所19園に対する委託料であり、国からの補助基準額の変更及び通所人数の増加に伴うものである。

◆桑名市学童保育所条例の一部改正に対する質疑
Q 大和幼稚園で今回の大和学童保育所を含め福祉・教育関係の3つの組織が活動することになるが使用方法に支障はないか。
A 学童保育所について幼稚園を使うケースは今回初めてであるが、今後園再編計画の中で園の利用方法を見据え、教育委員会と協議を行っていく。

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算所管部門に対する質疑

■審査案件 委員会開催日:9月18日・20日(審査件数:6件)

- 議案第70号 平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 所管部門
- 議案第85号 財産の取得について(指定ごみ袋(可燃《大》・可燃《中》・プラスチック))
- 請願第5号 「義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実」を求める請願書
- 請願第6号 「『教職員定数改善計画』の着実な実施と教育予算拡充」を求める請願書
- 請願第7号 「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める請願書
- 請願第8号 「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実」を求める請願書

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算所管部門に対する質疑

◆塵芥処理費について

Q 市指定ごみ袋を3回に分けて発注している理由は、

A 一度の発注では保存場所が不足することから3回に分けている。今回の補正は、ごみ袋の単価が上昇し、3回目の発注に際し不足する分に対するものである。

◆教育研究所費について

Q 遠隔指導教室の移動場所は市有施設ではいけないのか。

A 最終的に長島町総合支所も候補となったが、人通りの多いところは利用する子の精神的負担となる。小・中学校に近い長島町総合支所とした場合、通えなくなる子が増えることとコミュニケーションされた。

◆保健体育費について

Q 学校給食室の修繕はいつまでに完了するのか。

A 現時点では3年間で計画している。

財産の取得について(指定ごみ袋(可燃《大》・可燃《中》・プラスチック))に対する質疑

Q 大規模発注した方が安くなる可能性もあり、年間で契約し納入を3回に分けるべきでは。

A 各市町の状況も含めて検討する。

■審査案件 委員会開催日:9月18・20日(審査件数:4件)

- 議案第70号 平成25年度桑名市一般会計補正予算(第2号) 所管部門
- 議案第72号 平成25年度桑名市水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第82号 桑名都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部改正について
- 議案第86号 市道の認定、廃止及び変更について

主な質疑

平成25年度桑名市一般会計補正予算所管部門に対する質疑

◆道路施設管理費及び道路施設維持補修費について

Q 公共工事設計労務単価の改定内容及び対象となる業務委託件数は、

A 特殊作業員については約13パーセント、普通作業員、軽作業員については約17パーセント、特殊運転手、一般運転手については約13パーセントの労務単価の増加となっており、22件の委託業務が対象となっている。

平成25年度桑名市水道事業会計補正予算に対する質疑

◆水道施設維持管理業務委託について

Q 業務委託の内容及び今後のスケジュールは、

A 業務の内容としては、上野浄水場の夜間と閉庁時の運転管理業務、水道施設の監視業務、水源地、配水池等の巡回点検業務及び水質検査業務である。今後のスケジュールとしては、今年度中に入札を行い、来年4月1日から5年間の委託を行う予定である。

Q 業務委託をする一方、職員間の技術の継承についてはどのように考えているか。

A 業務委託における民間の技術力の活用を図るとともに、職員間の技術の継承は非常に重要であると考えており、様々な職員研修も実施している。今後も業務委託を行う中で、職員側の管理監督体制の充実にも努めていきたい。



決算特別委員会

決算特別委員会は、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員で構成し、4つの分科会（総務政策、福祉安全、教育経済、建設水道）を設置の上、各分科会で平成24年度事業の詳細な審査を行うものです。分科会審査は4日間の日程で行い、いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。各分科会の主な質疑は次のとおりです。

総務政策分科会

◆歳入における県政だより等配布手数料約1,000万円について

Q 本市における配布方式がどんな方式でも金額は変わらないのか。

A 配布方式による金額の変更はない。

◆消防費における職員研修費について

Q 各種資格取得に係る費用を負担しているが、資格取得後の早期退職の事例はあるのか。

A そのような事例はない。

福祉安全分科会

◆国民健康保険事業特別会計について

Q 税負担の公平性と財源の確保を図るため、収税率の向上に向けて何かいい手法はあるか。

A 滞納者に対して口座振替の依頼や電話催告等きめ細かい対応に努める。

◆介護保険事業特別会計について

Q 適切なサービスの提供がなされていないか。

A 認定調査員によって介護認定を行っている。介護サービスには国の基準があり、その基準に則っている。

教育経済分科会

◆環境保全対策費について

Q 市内における公害苦情等の現状は。

A 平成24年度は153件あり、主なものは大気36件、水質21件、騒音24件、振動6件、悪臭23件、その他43件である。なお、継続的な案件が3件あり、2件は工場の騒音、1件は粉じんの関係である。

◆農林水産業費について

Q 予算の執行率(85.6%)が他の歳出科目に比べ低い理由は。

A 3月補正で措置された予算について、未契約繰越を行ったため。

◆教育経費について

Q 校務用コンピュータ整備が、教育用コンピュータと比べ4ヶ月遅れているがなぜか。

A それぞれのコンピュータが扱う内容が違っており、校務用は様々なデータを扱うことからネットワークやセキュリティ等の検討に時間をかけた。

建設水道分科会

◆交通安全施設設置事業について

Q 昨年度の事業の取り組み状況は。

A 昨年度は他市で通学中の児童が交通事故に巻き込まれる事件が相次いで発生したこと、本市においても学校による緊急点検及びPTAへの意見の聞き取りが行われ、それらに基づき通学路の交通安全施設の設置を優先的に進めている。今後も引き続き、未設置地域への対応に努めていきたい。

◆長島地区の有収率について

Q 合併当初から比較すると低下傾向にあるが、その要因をどのように把握しているか。

A 長島地区の老朽管の更新が若干遅れていること等により漏水が発生し、それが有収率低下の一番の要因と考えている。有収率の向上のため、昨年度から全市的な漏水調査を行っており、今後も改善に努めていきたい。

また、決算事業評価として、決算事業の中から、分科会ごとに評価対象事業を選定し、決算審査の過程で当局からの説明、質疑を行い、審査終了後に委員間討論を経て評価を行いました。その後、決算特別委員会全体において評価を決定し、本定例会終了後、その結果を市長へ提出しました。(次のページに評価結果の抜粋を記載します。)

決算事業評価結果

●総合評価基準

- 評価5 「きわめて良好である」 評価4 「適正である」
 評価3 「おおむね適正である」 評価2 「問題がある」
 評価1 「不適正である」

●今後の方向性評価基準

- 評価5 「拡充する」 評価4 「現状のまま継続する」
 評価3 「改善・効率化し継続する」 評価2 「見直しのうえ縮小する」
 評価1 「休止・廃止」

○行政評価推進事業

行政評価は、欠かせない重要な事業である。事業の効果
 を十分に発揮するため、職員の取り組み意識の向上を図
 るとともに、客観性の確保を含めた評価手法の見直しな
 どを継続的に行っていく必要がある。

総合評価 3

今後の方向性 3

○広報活動事業

多様な手段を用いて積極的に情報発信し、市民と共有す
 ることは大変重要である。効果を的確に把握し内容の充
 実に努めるとともに、行政としての役割を踏まえ、より
 効果的かつ効率的な方法を選択していく必要がある。

総合評価 3

今後の方向性 3

○男女共同参画推進事業

男女共同参画推進条例のもと、誰もが個性と能力を十分
 に発揮することが出来る男女共同参画社会の実現に向け
 事業を進めていく必要がある現状を踏まえ、啓発活動に
 工夫を加えるなど、着実な事業推進に努められたい。

総合評価 3

今後の方向性 3

○放課後児童対策事業

共働き家庭が増加傾向にある中で、学童保育所の役割は
 非常に大きく、必要不可欠なものであるため、今後、全小
 学校区への整備を早急に実施されたい。また、各施設の
 特性を生かしつつ利用者の負担を平準化できるよう留
 意されたい。

総合評価 4

今後の方向性 5

○予防接種事業

予防接種の接種機会と一定の接種率の確保は市民の健康
 維持にとって非常に重要である。今後も接種率向上のため
 め、継続的な啓発活動等を実施するとともに、感染症の
 発生やまん延予防対策等に努められたい。

総合評価 4

今後の方向性 4

○コミュニティバス運行事業

コミュニティバスは、高齢者等の交通弱者対策として、必
 要性は認められるが、費用対効果は十分であるとは言え
 ず、運行方法や契約内容の見直しなどによる効率化を模
 討されたい。

総合評価 3

今後の方向性 3

○観光振興事業

更なる情報の発信や旧来のまちを活かした観光事業の
 ほか、まちづくりの観点を踏まえた事業を検討されたい。
 また、事業の運営面において行政や観光協会の体制
 の整理や目的、事業効果の明確化に努められたい。

総合評価 3

今後の方向性 3

○教育用コンピュータ整備事業

ICT教育における一定の基準を定めることや授業等での
 の活用等、コンピュータ利用そのものに関する教育など
 についても検討されたい。

総合評価 3

今後の方向性 3

○交通安全施設設置事業

交通安全施設の設置が進められているが、未設置地域に
 対しても速やかな対応を行われたい。また、通学路にお
 ける設置に一定の基準を設け、警察等関係機関とも連携
 を図るとともに、地域間で差異のない施設の設置に努め
 られたい。

総合評価 4

今後の方向性 5

○河川改良事業

例年、豪雨時に浸水被害が発生する地域は特定されつつ
 ある状況を鑑み、今後はその解消のため、必要な予算を
 確保し、十分な改良、整備に努められたい。

総合評価 4

今後の方向性 5

○土地区画整備事業

現行の予算措置では十分な進捗が図られていないのでは
 ないかと考える。今後は必要な予算を確保し、移転補償
 にかかる仮住まい対策や専門的コーディネーターの活用
 等、円滑な事業の推進に努められたい。また、駅のバリア
 フリー化や東西自由通路、妨害発生線の整備事業等との
 整合性を図りながら、事業の実施に努められたい。

総合評価 4

今後の方向性 5

議案質疑・一般質問

桑風クラブ・無会派 堀 良二

◆伊勢大橋の架替工事について

質問 今年度予算12億円の内訳・総事業費等は。

答弁 今年度予算12億円の内訳は、道路改良工事・補償調査・環境調査・事業損失補償であり、総予算額は、国道1号桑名東部拡幅事業全体として約490億円が見込まれている。

4車線化についての着手・完成時期は、現段階では未定である。

◆木曾川下流域の堆積土砂について

質問 水害の危険性浸漬の必要性は。

答弁 木曾川下流部の河床高については、一部に堆積傾向の箇所もあるが、河川全体として左岸側で堆積している場合は右岸側侵食、中央部で堆積が見られる場合は両岸で侵食傾向等となっており、河川排水断面としては確保され現段階では浸漬の計画はない。

フォーラム新桑名 松田 正美

◆防犯灯設置補助金の増額補正について

質問 補助内容について問う。

答弁 1年度に1自治会3灯までを限度に設置費用の4/5を補助する。(ただし、1灯あたり蛍光灯1万7千円、LED灯2万5千円を上限とする。)



質問 今後の補助の考え方について問う。

答弁 夜間の安全・安心の確保のため各自治会の要望は多い。今後補助率・内容など見直しをしたい。

質問 自治会長が並んで受付をしなければ補助を得られないという仕組みを見直すことはできないのか？

答弁 今後、受付方法についても見直ししたい。

新自由クラブ 水谷 義雄

◆安全安心・まちづくりについて

質問 地震、集中豪雨等の危険箇所、多度町赤沢川ポンプ設置要望、農業用ため池の状況について。

答弁 河川系64地域、急傾斜地138箇所を指定している。ポンプ設置要望は続けていく。ため池は39箇所あり、一斉点検中。内、1箇所改修工事中。

質問 上下水道の管理について(多度東地区の事故から)。

答弁 多くのお客様にご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。今回の事故を教訓に、適切な現場対応に努め、また危機管理体制の更なる強化に向け取り組む。

質問 熱中症対策について。

答弁 今後も迅速な情報把握と丁寧な啓発活動を進め、小学校のエアコン設置は財政的にも考え検討したい。

質問 公害対策について(多度西、北地区さい石場)。

答弁 今後も継続して県と情報を共有し指導をしていく。

フォーラム新桑名 愛敬 重之

◆思いやりのある社会福祉の充実について

質問 地域福祉における「互助」に対する市の考え方とその重要性について。

答弁 「地域福祉計画」の策定及び推進は、「互助」であり、市長が掲げる「全員参加型市政」という考え方にも含致するものと認識している。

◆活力ある産業の振興について

質問 市としてのCO₂を削減するための努力と超小型EVについての市の持つイメージについて。

答弁 「スマート・エネルギー構想」の4つの柱の一つ「賢く使う」では、「次世代自動車の推進」を主要施策と位置付けている。超小型電気自動車の普及促進に向けた取り組みを行っていきたいと考えている。



一般質問

新桑会・無会派

大橋 博二

◆近鉄、JR東海の駅を利用した通路について

質問 駅構内のフリーパスによる通行について。

答 駅周辺における利便性や安全性の観点から現状の駅東西の分断の解消は、まちの活性化を目指す上で非常に重要と考える。現在検討を進めている東西自由通路の整備については着手時期も含め、様々な観点から関係部署と協議し、駅構内のフリーパスについても鉄道事業者へ協議及び要望について検討する。

◆文化、歴史の継承について

質問 桑名の連絡と教育現場への導入について。

答 桑名の千羽鶴は市の無形文化財として多くの市民に愛され、桑名の伝統文化である。子どもたちが桑名の歴史や文化、文化財について知り、学ぶことができるよう、様々な機会を通じて、本市の歴史、文化情報を提供していきたい。

希望

伊藤 恵一

◆サル撃退効果ほぼ100%!

質問 イノシシ・シカにも有効安価な「おじろ用心棒」導入を。

答 サルの進入防止効果は実証されており、希望地区への導入を検討して参りたい。

◆「ブラーヌクスツェレ」

質問 無作為抽出の市民による 7千ボルトでサル撃退!! 「市民討論会」導入検討を。

答 意見を発言されない多数の方と出会う一つの方法であり、今後その機会や手法も検討して参りたい。

◆“無料!!”の駅自転車置場設置のための施策

質問 自転車法(鉄道事業者が自ら駐輪場を作る義務等)に則り、事業者負担の駐輪対策推進税等の導入を。

答 他自治体も参考に、より良い駐輪対策を推進する。



公明党桑名市議員団

畑 紀子

◆女性の就労支援について

質問 結婚や出産・育児などによりいったん退職した女性たちが、さまざまな理由で再就職を希望する時に支援をする「マザーズハローワーク」がある。女性の再就職について、市としての相談窓口があるのか。今、具体的に取り組んでいる支援はあるのか。

答 現在、特に女性の再就職についての窓口はないが、男女共同参画推進事業の一環として、女性の職業能力の開発や再就職への支援を目的に再就職準備セミナーを毎年開催している。

マザーズハローワークについては、市としても女性の就労支援に繋がることから、ハローワーク桑名に設置に向けた働きかけをしていきたいと考えている。

日本共産党桑名市議員団

石田 正子

◆国民健康保険について

質問 保険税の負担軽減を。

①保険税の引き下げの検討②算定方式の見直し③基金(9億円余)の活用。

答 保険税の見直し、算定方式の検討については今年度中に策定する『桑名市国民健康保険第2期財政健全化計画(26年度～29年度)』で総合的に検討する。基金については、保険税の引き上げにならないよう有効的な活用も一つの方策として検討する。

◆廃棄物処理について

質問 RDF事業の終了に伴い、今後の方向性について。

答 市としては新ごみ処理施設を建設、新たなごみ処理方式を採用する方向で考えているが、新ごみ施設を建設する場合、ごみ処理施設整備基本計画の策定後、市民への情報提供、PRに努める。

一般質問

市民クラブ

松浦 祥子

◆桑名市の文化芸術活動について

質問 平成24年度「桑名市文化・スポーツ振興公社」の赤字事業について市としてどう思うのか。

答弁 平成24年度の黒字にならなかった自主事業は主に市民会館で開催した大型の公演事業であった。そこで25年度から自主事業について再構築を図り、大山田コミュニティプラザの文化ホールで「ワンコインコンサート」など気軽に参加できる事業を中心に企画、実施している。

◆陽だまりの丘複合施設「ほかほか」の運用について

質問 「ほかほか」の1つの事務室で異なる管理者が運営することに不都合はないか。

答弁 利用者の受付場所がわかれているので問題はない。利用者の快適な利用の充実を図っていく。

絆

南澤 幸美

◆多度地区の企業誘致について

質問 企業進出の成果についての所見を求める。

答弁 平成17年度から24年度までの多度地区の企業進出として、多度第2工業団地・インダストリアパークで10件、多度工業団地を含めた増築・増設件数は4件となっている。また、新規雇用の従業員数は約420名、この間に納付された固定資産税総額は約58億円である。

◆多度地区の企業誘致推進について

質問 課題となる道路整備について問う。

答弁 国道258号ほか周辺の道路整備が進む一方、多度西部と258号を結ぶアクセス道路「県道御衣野下野代線」の整備が交渉等で難航している。

市としては交通の障害となっているクランク部分の解消を視野に県と協議していきたいと考えている。

桑風クラブ・無会派 伊藤 文一

◆学校教育等における教育長の所見

質問 小中学校の児童・生徒に対する教育理念は。

答弁 小学校においては、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことが求められる。「知」は基礎的な知識や技能、「徳」は人を思いやる心や豊かな人間性、「体」は心身共に健康に過ごす態度を養うことであると考えている。

中学校では、小学校の理念に基づき自分自身と社会とのつながりを認識し、自己実現に向かい取り組む姿勢を育むことが大切であると考えている。

◆児童・生徒の夜間外出について

質問 私的外出(花火大会・祭り等)への対応は。

答弁 近隣市町での事件に対し市教委としては深い悲しみと憤りを感じている。学校の指導だけではなく家庭・関係機関と連携して対策を講じていきたい。

無会派

市野 善隆

◆市長多選禁止条例について

質問 市長は市議時代に2回言及し必要性の発言をしている。全国事例もあり制定の意志を問う。

答弁 長期にわたる権限の集中による弊害は多いが、現在のところは考えていない。

◆市長他特別職退職金の削減について

質問 市長は4年任期で約1,850万円。職員は3年間で約17%削減される。鈴鹿市同様準じるべきでは。

答弁 現状が妥当であるのか特例的改正等を含め、県内他市の状況や様々な方のご意見を伺い考えていく。

◆幼稚園再編に伴う地域課題について

質問 長島は地形・4園再編から通園バス南北2ルートの計画。10箇所のバス停では少ないと考えるが。

答弁 具体的な場所等については、地元の方の意見を伺い安全確保等を含め検討していく。

一般質問

希望

伊藤 研司

◆桑名(員弁・町屋川流域)から「雑木林」が消えてしまう!

質問 員弁・町屋川は、桑名市民に「命の水」を供給してくれている。その流域一帯の雑木林が枯れ、孟宗竹に取って代わられてしまっている。

(例) 平群神社一帯は孟宗竹。桑名西高校付近に位置する里山では、雑木林が枯れかかっているが。

答弁 雑木林は、自然の生態系を保全するという根源的な機能を持っている。しかし、最近では、雑木林の利用や管理がされなくなり、竹が雑木林を侵食している現状に懸念している。

桑名市の自然環境保全政策としては、自然環境保護推進委員の先生方に生態系の調査活動をお願いし、その調査結果を紹介する「くわなの生きもの」を発行し、自然の生態の大切さを訴えている。

新自由クラブ

倉田 明子

◆地域福祉計画について

質問 「地域福祉計画」は地域福祉の指針と考える。計画の目指す方向性と市民と市との協働について問う。

答弁 地域の課題を解決するための実現可能な方策を検討し本年度中に計画を策定する予定。市の福祉部門だけでなく、他部門の職員、市民と協働で取り組む。

再質問 ロールモデルとしての全国発信の計画は?

再答弁 今後計画策定や推進状況を市内外に情報発信する。

◆道徳教育について

質問 スマートフォンは今や「中学生5人に1人が持つ」と言われ、誤った使用方法が社会問題となっている。教育委員会の所見と対応を問う。

答弁 低年齢期からの「情報モラル教育」を推進し、ルール・マナーの定着を図ることで、子どもが「被害者」にも「加害者」にもならないよう指導していく。

日本共産党桑名市議員団 星野 公平

◆生活保護基準の引き下げについて

質問 利用者の生活実態をどの様に捉えているのか。

答弁 生活実態を出来る限り把握出来るよう9名のケースワーカーが生活保護世帯ごとに援助方針を立て、年間訪問計画を策定の上、計画的に家庭訪問を実施している。引き下げの利用者への説明で、「僅かです」とか、「微々たるものです」という発言があったが、不適切であり、口頭で指導した。

質問 廃案になった生活保護法改正案の市の考えは。

答弁 今回の改正案は、必要な人には確実に保護を実施するという基本的な考えを維持し、生活保護制度が国民の信頼に応えられるよう、4項目を主な内容として掲げている。①就労による自立の促進、②健康・生活面に着目した支援、③不正・不適正受給対策の強化、④後発品使用での医療扶助の適正化。

新桑会・無会派

鷲野 勝彦

◆地域周辺環境変化に伴う交通安全対策について

質問 県道桑名一大安線について、久米地区川岸地内に道路幅差があり危険だが今後の意向は。

答弁 今後、通過交通量を注視しながら、県へ桑名一大安線の川岸町から東への道路拡幅を要望していく。

質問 県道多度御衣野一下野代線について、経済活性化に伴い道路整備が必要だが。

答弁 今後、交通障害となっているクランク部分の解消を視野に入れ、県と協議していく。

質問 市道長島平方一新所線について、防犯対策としての街路灯設置の所見を問う。

答弁 地元自治会からの意見を集約し、また農地付近であれば地権者に対して同意を得ていただくようお願いしている。今後、地元要望を受ける中で、交差点など部分的に必要な対策を行いたい。

一般質問

市民クラブ

小川 満美

◆補助金の見直しについて

質問 今年度の補助金の総額は、およそ9億7千万円である。来年度予算では補助金を一律20%削減するというが、個々の団体それぞれ事情があり難しいのではないかと。この際、根本的に見直しをして、本当に必要なところに必要な金額を補助すべきではないのか。ゼロベースでの見直しを実施するのか。

答弁 平成27年度以降は、合併算定替の終了に伴い段階的に地方交付税が削減される予定なので、補助金を含めた歳出構造の見直しが必要である。今後更に各所管と調整等を図り、最終的な補助金額を決定する。

再質問 役目を終えた補助金の洗い出しはしないのか。

再答弁 それぞれの団体の事情を聞きながら予算編成の中で対応する。

公明党桑名市議員団 竹石 正徳

◆社会保障制度改革国民会議の報告書から

質問 「地域包括ケアシステム」進捗状況について聞く。

答弁 今年度中に医療、介護、生活支援等の関係者による「地域包括ケアシステム」構築の為の具体的な方策を協議する場を準備する。来年度中に策定予定の平成27～29年度第6期介護保険事業計画は「地域包括ケア計画」と称される重要なものである。

質問 「地域完結型」医療の構築に向けて聞く。

答弁 「病院完結型」から「地域完結型」医療への転換は、患者の状態に見合った医療の提供であり、医療機能の分化・連携、あるいは地域で要介護者の生活を支援する「地域包括ケアシステム」の構築と表裏一体の関係にある。新病院と地域の医療機関との役割分担を理解し、適正な利用に協力していただけるよう、市民に分りやすく説明していく。

希望

宮本 宗弘

◆財政状況の更なる悪化に対する対応策は？

質問 経常収支比率がさらに悪化し、97.2%になった。この状況を打開するためには国と地方との枠組みを大幅に改める道州制とさらなる基礎自治体の再編しかないのではないかと？

答弁 道州制は、あくまでも都道府県の枠組みの変更であり、基礎自治体である市町村から積極的に意見を発信するのは、そぐわない。

◆教育環境整備が一年遅れると一学年確実に影響を受ける児童・生徒がいる！

質問 大山田東小学校のプレハブ校舎の状況は学校の選択制などを用いて解消すべき。

答弁 学校選択制にもいくつかの課題があるので、今後も十分な研究が必要であると考えている。

桑風クラブ・無会派 岡村 信子

◆幼稚園再編実施計画の現状・実効性について

質問 公立幼稚園と私学幼稚園の保育料の差は、建学の精神、私学独自の教育方針によるものであり、私学側に指摘されるものではなく、補助金増額の請願書など言語道断である。公立幼稚園は30年度には24園を11園に再編され、廃園となる公立幼稚園を放課後児童クラブ等として利用する計画があり、その施設維持費・運営費、再編に伴い必要となる施設整備・部分改修の経費、更に認定子ども園は30年度までに光風・陽和学区に計画されている必須事業であり、再編に伴い発生した財源はこれに充当されるべきである。この方針に変更なく不退転の気持ちで実行するのか教育長に問う。

答弁 よりよい教育環境となるよう、再編実施計画に沿って着実に進めていく。

総務政策委員会政策提言

1. 人事政策の充実に ついて

職員一人ひとりの意欲と能力を最大限に引き出し高めながら、組織全体の力が向上するように研修制度の充実に努めるとともに、様々な社会環境の変化に対応するため、多様な人材の活用を図る観点から、職員の採用方法の見直しについて検討されたい。

また、本市の非正規職員は行政サービスを支える重要な人員となっている現状があることから、先進事例を調査研究し、待遇等の見直しを含め、意欲を高める仕組みづくりに努められたい。

2. 指定管理者制度導入施設の 評価・検証 について

制度導入施設の評価・検証をより的確に行うため、利用者満足度等の把握の

確実な実施に努めるとともに、管理運営状況等についての総合的な評価・検証が必要であると考えていることから、先進事例を調査研究し、その実施を検討されたい。

また、制度運用の透明性を確保する観点から、市ホームページ等でのモニタリング結果の公表を検討されたい。

教育経済委員会政策提言

1. 認定こども園について

子ども・子育て支援事業計画の策定にあたっては、子育てに関する綿密なニーズ調査を行うことで、認定こども園等の施設による対応のみならず、地域型保育給付を用いる小規模保育等も含めた多様な保育メニューの活用や公私立の連携、さらには地域の子育て支援機能に資する諸施策にわたる広範な視野に立ち、桑名市に適した総合的

な子ども・子育て支援のあり方を示すものとなるよう配慮されたい。

また、子育て支援施策の推進にあたっては、職員に対する研修の充実や、担当部局の一本化といった質の高い幼児教育・保育を担う職員や行政の体制の整備について検討されたい。

就学前の教育・保育について、より一層の支援を行うよう国や県に対して働きかけをされたい。

2. 確かな学力の育成に ついて

引き続き教師力の向上や子どもの自主性を育む教育の実践など、様々な観点を踏まえた継続的な検討に努められたい。

各常任委員会 を行いました!!



福祉安全委員会政策提言

1. 高齢者の健康づくりについて

健康寿命の延伸には、幼少時からの生活習慣や就労時の健康づくりが重要であることから、ラジオ体操のように全市民に広く認知され、老若男女を問わず誰もが手軽に実践することができ、運動習慣を身につけることができる手法を検討されたい。

また、その検討にあたっては、健康推進員や健康づくり市民活動グループと連携し、高齢者だけではなくあらゆる世代を巻き込むことにより、地域交流の活性化等の副次的な効果も期待できることから、その点についても配慮されたい。

2. 子どもを守るための取り組みについて

児童虐待防止に関するより一層の啓発活動に努めるとともに、担当課職員だ

市長に対し、から政策提言

10月30日、政策提言を行いました。

これは閉会中の委員会活動の一環として、所管事務調査を実施し、その調査結果をまとめ、政策推進並びに事務事業執行の参考とされるよう市長に提言するもので、今回で7回目となります。調査研究報告書の全文は市議会ホームページをご覧ください。

建設水道委員会政策提言

1. インフラの長期的マネジメントについて

本市のインフラは、各施設によつて所管する部署に違いはあるが、可能な限り長期的に統一されたインフラマネジメント白書の策定を検討されたい。また、白書により本市のインフラの全体像を分析したうえで、今後の経費予測を確実にし、計画的で効率的な施設の管理、更新方針を定めたインフラマネジメント計

画の策定を検討されたい。施設の維持管理にあたっては、予防保全の観点に留意され、計画的な維持修繕、長寿命化に努められたい。また、災害対策として、管路の耐震化や水道原水の複数化にも努められたい。施設の維持管理にかかる経費の予測にあたっては、財政収支との均衡を図るため、適切な歳入の確保及び水道料金、下水道使用料の改定を検討されたい。さらに、改定する際は、市民に対しより丁寧でわかりやすい周知、説明に努められたい。

都市整備や上下水道の各事業の実施にあたっては、職員の技術継承をしつつ、現在採用されている民間委託手法を検証するとともに、包括的民間委託をはじめとしたあらゆる手法を検討され、事業の効率化に努められたい。

桑名市議会からのお知らせ

12月定例会の開催日程(予定)

12月定例会が、12月3日(火)～25日(水)の23日間の予定で開催されます。

●12月3日(火)
本会議(議案上程・提案説明・役員改選)

●12月4日(水)
本会議(役員改選)

●12月10日(火)～13日(金)
本会議(議案質疑・一般質問)

●12月16日(火)～18日(木)
常任委員会・特別委員会

●12月25日(水)
本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)
※12月10日(火)～13日(金)は、ケーブルテレビでもご覧になれます。

傍聴してみませんか

本会議や各常任委員会、特別委員会などの会議は傍聴できます。

日程はこの市議会だよりや市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局にご確認のうえお気軽にお越しください。



インターネット録画中継

より多くの方に本会議をご覧いただくために、インターネット録画中継を実施しています。

傍聴に来ることができない方でも、インターネットにより本会議(代表質疑・議案質疑・一般質問)の様子を録画中継で見ることができますので、ぜひご覧ください。



テレビ中継のお知らせ

本会議の議案質疑・一般質問をケーブルテレビで生放送します。ぜひご覧ください。

対象地区	チャンネル	放送時間
桑名地区	地上デジタル121ch	午前10時から
多度地区	地上デジタル122ch(サブチャンネル)	
長島地区	地上デジタル123ch(サブチャンネル)	

※サブチャンネルでご覧いただくには、リモコンの数字ボタン②を押し、チャンネル(演習)ボタンの上方向を1回または2回押して下さい。



会派異動のお知らせ

8月1日、「新桑会」の市野藤隆が離脱し、無会派となりました。また「新桑会」に辻内裕也が加入し、会派名が「新桑会・無会派」に変更となりました。

議会活動状況報告

※定例会中の定例会議にかかる会議は省略しています

8月

- 1日、2日 建設水道委員会視察(茨城県水戸市、東京都府中市)
- 2日 北勢5市議会懇話会
- 6日、7日 教育経済委員会視察(文部科学省、東京都青梅市)
- 9日 福祉安全委員会視察(大阪府堺市)
- 12日 各派代表者会議、決算運営委員会
- 19日 総務政策委員会
- 20日 教育経済委員会
- 22日 桑名・員弁広域連合議会
- 23日 福祉安全委員会、建設水道委員会、議員研修会
- 26日 全員協議会
- 28日 各派代表者会議、議会運営委員会、桑名広域連合市町村協議会

9月

- 2日 広報広聴委員会
- 3日 決算運営委員会
- 4日 9月定例会(閉会10月1日)
- 25日 議会報告会班長会議
- 26日 新病院の整備等に関する特別委員会

10月

- 1日 決算事業評価結果を市長に報告
- 10日、11日 全国都市間議会連
- 15日 北勢5市議会合同研修会
- 16日 広報広聴委員会
- 17日 各派代表者会議、新病院の整備等に関する特別委員会
- 23日 各派代表者会議、議会運営委員会、議会報告会班長会議、議会報告会班別会議
- 24日 広報広聴委員会
- 30日 議会運営委員会、臨時議会、常任委員長会議、常任委員会政策提言
- 31日 全国高速自動車道市議会協議会理事会

委員長 平野和
副委員長 豊田一
委員 網石信子、杉正子、伊藤繁生、小島一美、小川隆一、市川美子、倉田善子、畑内美子、辻内裕也、豊田紀子、平野和

網石信子、杉正子、伊藤繁生、小島一美、小川隆一、市川美子、倉田善子、畑内美子、辻内裕也、豊田紀子、平野和

ついでこの間まで酷暑だ、炎暑だ、暑い暑いと言っていたのがウソのように肌寒くなってきました。体調管理に注意してお過ごしください。12月に役員改選があるののでこのメンバーで発行するのは最後となります。応援ありがとうございます。

編集後記

皆様のご意見をお寄せください

市議会や市議会だよりに対するご意見、ご要望等がございましたら、議会事務局までお寄せください。

桑名市議会事務局

〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話:0594-24-1304/0594-24-1305
FAX:0594-24-1359
メールアドレス:gikajim@city.kuwana.lg.jp

お問い合わせ